

教科・科目	対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
芸術・音楽Ⅱ	2 (音楽コース)	2	音楽Ⅱ Tutti（教育出版）	Music Note 基礎から学ぶ高校音楽（啓隆社） 楽典 理論と実習（音楽之友社） 自作プリント
科目の概要と目標	音楽の基礎的な知識及び法則を理解することにより、音楽に対する豊かな感性と演奏力の伸長を図ります。 斉唱や合唱、器楽合奏を通し、アンサンブル能力を高めることや、表現での基礎基本を学びます。			
授業の進め方	年間を通して講義と演習を実施します。必要に応じて、授業中に確認テストを行います。 第1学期は主に譜表・音程・音階について学習します。 第2学期は和音・調性判定について学習します。 第3学期は調性判定を継続して学び、その後移調について学習します。また年間を通して楽語についても、学んでいきます。 表現の領域は、年間を通じて合唱アンサンブル・器楽アンサンブルを行います。			
評価の観点と方法	中間・期末考査において筆記試験を行います。また3学期の校内模試においても筆記試験を行います。必要に応じて、授業中に確認テストを行います。夏休み・冬休み・春休みは課題を提出します。また授業において配布したプリントの提出を行います。年間の成績は、それぞれの試験の点数化に平常点と提出物を加味したもので出します。 表現の領域は、取り組みと単元ごとの発表会において評価します。			
	学期	単元・学習項目	学習内容・到達度目標	
年間 の 授 業 内	1 学 期	「譜表」 「音程」 「音階」	【学習内容】 各譜表についての学習 【到達度目標】 それぞれの譜表の名称及び実音の高低も含め理解しているか。 【学習内容】 2音間の音程の幅についての学習 【到達度目標】 単音程・複音程・転回音程・異名同音程について理解しているか。 【学習内容】 音階構成音の名称、長調・短調について 【到達度目標】 各調性の調号及び、音階構成音の名称、音程関係が理解できているか。調性ごとの相互の関係について理解できているか。	
	2 学 期	「和音」 「調性判定」	【学習内容】 和音の仕組みについて学習します。 【到達度目標】 三和音・七の和音の仕組みと名称、特性について理解しているか。転回和音を理解できているか。 【学習内容】 三和音や七の和音が何調に属するか学習します。 【到達度目標】 長調・短調の音階において、三和音と七の和音がどの調性に属するかを理解できているか。	
	3 学 期	「調性判定」	【学習内容】 旋律において、何調か判断する学習をします。 【到達度目標】 旋律の楽譜において、何調か判定できるか。	